

石岡亜依美さん表敬訪問

(日本情報処理検定協会主催第11回文書作品コンテストで入賞)

12月1日(役場)

上田西高校3年生の石岡亜依美さんが「地域の再発見」というテーマで応募した日本情報処理検定協会「第11回文書デザインコンテスト」の入賞について町長へ報告しました。石岡さんは「長野県御代田町の龍神伝説」を題材として作品を作り上げました。応募作品1,376作品の中から上位40名に入ることができ、入賞できたとのこと。題材とした理由を聞かれると「昔、保育園のときに聞いた紙芝居の龍神伝説を覚えており、地元の龍神伝説をテーマにしました」と話しました。



入賞作品

第42回御代田町社会福祉大会

11月28日(エコールみよた)

御代田町社会福祉大会では、社会福祉事業に功績のあった方などへの表彰や事前収録映像によるリモートセミナーが行われました。この大会は一人ひとりの生きがいを高めていくため、みんなで取り組む地域共生社会の実現を目指し、毎年開催されています。大会は感染症対策として、福祉関係者のみの出席となりました。



イルミネーション点灯式・おにかけうどんふるまい

12月3日(御代田駅前)

町商工会主催によるイルミネーション点灯式とおにかけうどんのふるまいが行われました。今年でイルミネーションは20年目を迎えました。商工会の柏木会長は「ないと寂しいという声もあり、県や町とも相談し、できることはやろうという結論になった。この光が希望の光となることを願う」と話しました。イルミネーションは3月31日まで点灯しています。



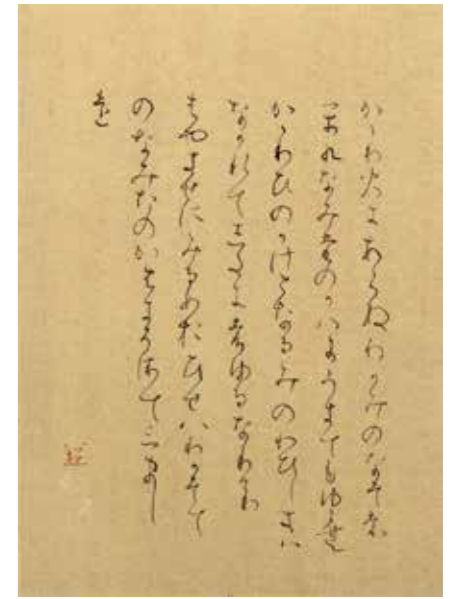
佐久平総合技術高校3年土屋桜子さん表敬訪問

(全国総合文化祭書道部門で特別賞) 11月26日(役場)

土屋さんは、約1年をかけ、「関戸本古今和歌集」の臨書を和紙32枚からなる大作に仕上げました。全国高校総合文化祭(書道部門)で全国から選抜され、出品された300点のうちさらに46点のみ与えられる特別賞受賞についてご家族全員が驚かれたそうです。土屋さんは地元の書道教室に通う子やこれから書道を始めたいと思っている子に「自分のペースで楽しく書道が続けていくことが大切」と話しました。



作品について町長に説明する土屋さん



作品の一部

有限会社トップリバー表敬訪問

(農林水産祭内閣総理大臣賞を受賞)

11月25日(役場)

農林水産省及び公益財団法人日本農林漁業振興会共催の第59回農林水産祭の園芸部門において、内閣総理大臣賞を受賞したことを町長へ報告しました。この賞は過去1年間に、農林水産大臣賞を受賞した465点の中から決定されたものです。農業人材の育成に力を入れていることなどが受賞理由になったとのこと。代表の嶋崎秀樹さんは「農業を活性化させ、町に貢献できるように」と話しました。



寄付金お礼

11月10日(役場)

中学校生徒会の三役が役場を訪れ、中学校で回収したアルミ缶回収益金を町に還元して、子育て分野に役立ててほしいとのことから、30,750円を寄付していただきました。アルミ缶は全校生徒にお願いし、5月～10月に回収し、460キログラム回収できたとのこと。寄付金の用途について、中学生からは何か形に残るものを残してほしいということで、町立図書館で中学生向けの本を20冊購入しました。購入した本はYA(ヤングアダルト)コーナーに設置されています。

